|  |
| --- |
| 聖書の言葉（マタイ福音）　イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。　・・・　略　・・・　ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。 |

**南山っ子通信**



人の役に立つために

**密閉，密集，密接**から名付けられた「３密」，人的接触距離を確保するための「ソーシャルディスタンス」など，新型コロナウイルス感染症の対策が始まって，これらの言葉をよく耳にするようになりました。「３密」にしても「ソーシャルディスタンス」にしても一見社会的な分断をイメージしてしまいがちですが，決してそうではないように思います。自分が感染しないためは勿論ですが，他の人を感染させないための対策でもあり，そういった意味からすると，今年は他の人（隣の人）を意識し続けた１年間だったと言えそうです。

他の人を意識して，人の役に立つためにと考えるとき，ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智さんについて連日のように報道された５年前のことが思い出されます。

アフリカや中南米，

東南アジアなどの**熱**

**帯にはびこる寄生**

**虫に対する薬剤「イ**

**ベルメクチン」を開**

**発した大村博士は，**

**病に苦しむ多くの**

**人々を救うために**

**莫大な収入が見込まれる特許権の一部を放棄しました。そのお陰で，開発された薬剤は無償提供され，１０億人以上の人々が失明などの風土病から救われたということです。**

「その人の業績や功績に与えられるのがノーベル賞だが，大村智博士の場合は，その人柄にノーベル賞が与えられた」と，科学者仲間からささやかれた博士のその人柄について，受賞当時報道されたエピソードを紹介したいと思います。

長崎南山小学校

学校生活だより

令和２年１２月号

担当〔山田〕

NO．９５

教員をされていた大村智博士のお母さんは毎日が忙しく，博士は小さい頃からおばあさんにお世話をしてもらっていたそうです。そのおばあさんが博士にいつも言い聞かせていたことは，「とにかく智，お前，人のために働きな

さい。人の役に立ちなさい。」ということだったそうです。

「人のためになることを」という言葉は，博士の座右の銘だそうですが，人生の岐路に立ったとき，研究の分かれ道に立ったとき，大村博士は，「どちらが世の中のためになるかな？人のためになるかな？」をいつも基準にして考えてこられたそうです。

　聖書のマタイ福音書の７章に黄金律と呼ばれる聖句があります。**「だから，人にしてもらいたいと思うことは何でも，あなたがたも人にしなさい」**という言葉です。「まず自分ありき」と考えるのが世の常ですが，「自分のことよりも先に人のことを考える」聖書の教えと，大村智博士の考え方とは相通じるものがあるようです。

　新型コロナウイルス感染症は，終息の願いとは反対にますます拡大していく心配な状況下にあります。例年でしたら親戚や知人と会う機会が増す年末年始ですが，今回は控えるご家庭も多いことでしょう。子どもたちにとっては，クリスマスやお正月の楽しみを我慢しなくてはならないことも起こってくるかと思います。まわりの人を感染させないために，自分にできることは何か，人の役に立つためにできることは何かを考えて行動してもらいたいと思います。

　また，何かと慌ただしい年末年始の家庭の中では，子どもたちの手を借りることも多く出てきます。家族のために自分にできること，役に立てることがないか考えて，進んでお手伝いもしてもらいたいと思います。

決まりを守ろう，

守らせよう！

　寒さが厳しくなり，コートやセーター，マフラーなどの防寒着を着用する子どもたちが増えてきています。防寒着については，配布している「南山っ子の約束」を確認され，規定通りにお願いします。

コ ー ト：無地の紺か黒。

 （華美にならないように）

 ※登下校中は，視界確保，安全のためにフードは着用しない。

靴下・冬セーター：学校指定のもの。

ネックウォーマー・マフラー・手袋は自由

（但し，華美にならないように）

※　学校に持ってきてはいけない物についても確認します。

　　・お金

　　・メモ帳やシール

　　・ペンやシャープペンシル　　など

学校で連絡帳を買う時に，必要以上のお金を持ってきている児童を見かけることがあります。絶対に持たせないようにさせてください。

　また，高学年の中にはシャープペンシルを持ってきている者がいます。誤って持ってきたというよりは見つからなかったらという安易な考えで持ってきている子も多いようです。

　集団生活の中にルールがあることは当然のことです。ご家庭でも，「学校の決まりを守る，守らせる」という強い意識の下に指導をしていただきたいと思います。

 教 室 紹 介  

**３年１組　担任　伊　東　　亮 先生**

　３年１組の全員が特にがんばって取り組んでいること，それは「無言掃除」です。掃除の時間，任された場所をきれいにするために一言もしゃべらないで熱心に掃除をしています。元気印が歩いているような，とにかくパワーのある子どもたちが一言もしゃべらないで掃除に取り組んでいる姿はとても立派です。

　伊東亮先生は，クラスの一人ひとりが個性を大切にしてキラキラと輝いていてほしい，そして学習面でも生活面でも，いつも安心して活動してほしいと願っています。

遊び時間，長縄やサッカー，ドッチボールなどに元気いっぱいに体を動かしている様子や，教室の中で流行っているクイズの出し合いや工作に仲良く楽しそうに取り組んでいる様子を見ていると，キラキラと輝く学級作りを目指している伊東先生の願いが形となって現れてきているのがよく分かります。

まとめの３学期も成長が大いに期待できる３年１組の子どもたちです。

